



学校だより

# 伸びゆく子

令和3年9月1日  
横浜市立中沢小学校  
9月 号

笑顔で、子どもたちが安心して過ごせるように

学校長 川又 美貴子

いよいよ学校が再開しました。夏休みに入る前の授業最終日、正門の前で子どもたちに「よい夏休みを。」「夏休み、楽しんでね。」「夏休みが終わったら、またお話聞かせてね。」と声をかけながら見送ると、何人もが「校長先生もよい夏休みを。」「夏休みのこと、今度来た時にお話するね。」と返してくれながら笑顔で帰っていきました。

去年の夏休みは、臨時休校の影響でいつもよりかなり短い期間しかなかったことを思うと、今年は出かけることは難しくても、それぞれの楽しみ方のできる夏休みになるといいな、そう願っていました。しかし、夏休み中の感染拡大の影響は大きく、8月末の臨時休業、そして分散登校による短縮授業での学校再開となりました。保護者、地域の皆様におかれましては、ここ数日の度重なる変更、対応のお願いに、ご理解、ご協力いただき本当にありがとうございます。ご不明な点、ご心配な点がありましたら、いつでも学校までご相談ください。

さて、保護者の皆様はもちろんのこと、子どもたち自身もいつ感染するかわからない不安や、いつもとは異なる周囲の緊張感に、言葉では表しにくい複雑な思いを抱えて学校再開を迎えていることと思います。そこで学校では、子どもたちが少しでも安心して生活することができるように、学校再開スタートプログラムを取り入れた活動に取り組んでいます。「朝の時間に気持ちを落ち着かせる『一人タイム（読書などに集中して取り組む）』を設定する」、「一人ひとりと面談し、不安や思いに寄り添うようにする」、「学校再開後1週間から10日を目途に、学校生活アンケートを行う」などです。また、感染対策を講じながらできる簡単なレクリエーションなども、時間や方法を工夫しながら適宜取り入れていきます。様々な事情で登校できない、登校が難しい子どもたちにも、電話や、ロイロノート、Google meetなどのオンラインツールを使ってコミュニケーションをとり、学習を進めていけるよう支援していきます。状況が改善した時には、安心して登校できるように働きかけていきたいと考えています。

今、感染拡大の不安をぬぐうことは大変難しい状況ですが、子どもたちにとっては一日、一日が成長していく貴重な時間です。だからこそ、感染対策に細心の注意を払った上で、教職員一同「笑顔」で子どもたちを迎え、見守っていくことを大切にしていきたいと思います。大人がゆとりをもって笑顔でいれば、きっと子どもたちも安心感を得ることができると思います。笑顔で「大丈夫だよ、安心してね。」というメッセージを伝えてあげることが、大切なのだと考えます。

学校に戻ってきた子どもたちが、これからまた、目を輝かせ、様々な話を聞かせてくれるのがとても楽しみです。日々、様々な活動を通して、子どもたちが自分らしさを形づくっていけるように、日々を楽しんで、夢中になって、努力していけるように、力を尽くしていきたいと思っています。